

各科紹介

～ 授業の取り組みを紹介します ～



普通科

普通科では、生徒の半数以上が大学短大や専門学校等への進学を希望しております。この多様な進路選択の実態を踏まえ、1年次から「総合的な学習の時間」を通して自己の適性や職業の理解を図る学習や、プレゼン等の自己発信力を身につける学習に力を入れています。今月の上旬には、その一環として普通科1年生が仙台市の民間企業と



東北学院大学を訪問し、職場で働く姿や講義を受講する学びの姿を間近に見て、進路意識を高める学習行事が予定されています。

機械科

機械科3年課題研究の地域連携班では今年度も大和町の「まほろば夏まつり」に参加させていただきました。「ものづくり体験教室」としてキーホルダーづくりを行いました。減摩合金を用い作成するため、学校で何度も練習し、計画を綿密に立て本番に臨みました。

また、塑性加工班では、文化祭のアーチを作成しました。木材加工がメインにはなりましたが、生徒の技術力と発想力で素晴らしいアーチが完成しました。多くのお客様に好評価を頂きました。



環境技術科

環境技術科では、毎年「現場見学会」を実施しています。この見学会は、土木建設の現場や環境系の事業をしている会社を見学することで、普段授業で学んでいる内容を深く理解するために行っているものです。今年度の3年生は、地球資源の活用と現状を知るために、県北にある鬼首地熱発電所と細倉マインパークを見学してきました。地熱発電所では、普段ではなかなか行かない山奥まで足を運び、硫黄の臭いが漂う片山地獄や地下から湧き上がる高温の蒸気や熱水を目にし、生徒達も驚いた表情で見学していました。マインパークでは、県内にも鉱物資源を採掘していた場所があったことを知り、興味深く見学していました。



電子工学科

課題研究の学習では、利府支援学校高等部の生徒さんたちと共同で「オルゴール」を製作しています。

電子工学科の生徒が製作した音楽基盤を、利府支援学校の生徒さんたちが作った木製ボックスに収納し、「オルゴール」の出来あがり。重度の障害をお持ちの生徒さんたちに、さまざまな機会に活用していただくことを目標にしています。12月には引き渡しを兼ねて、交流会を行うことになっています。



進路指導部から

本校では、毎年2年生の全生徒を対象に、実社会における社会規範やマナーを理解し習得することなどを目的として“ジュニア・インターンシップ”を実施しています。実習先として地元黒川郡の事業所および町役場などの行政機関や仙台市内の大学などのご協力をいただき、今年度は10月18日(火)～10月20日(木)の3日間をⅠ期、11月8日(火)～11月10日(木)の3日間をⅡ期として、各期とも3クラスずつ就業体験および講義体験に取り組みました。今年度のジュニア・インターンシップでは、黒川高校らしさ「元気に挨拶！フレッシュ黒高生！」に加えて、「自ら課題を発見し、その解決に向けて自ら考え、自主的に取り組む」ことを具体的な行動指針として、実習先までの経路設定はもちろんのこと、体験先の業務内容等の下調べをもとに「自分になにができるのか」ということを考えた上で実習に取り組みました。実習後の事後指導に加え、地元で活躍する社会の諸先輩方から社会人としてのあり方を学んだこと、さらには黒川地域を支える産業についての理解を深められました。年度末には、「ジュニア・インターンシップ発表会」を実施し、互いの貴重な体験を共有しながら進路に対する考えを深めていく活動に取り組む予定です。今後とも本校生徒へのご支援・ご協力をお願い致します。

